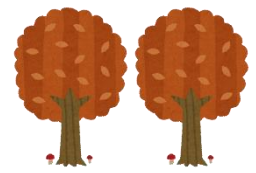




# きつぷらす通信 11月号



発行：令和4年11月

寒さもだんだんと厳しくなってきましたね。気付けば今年も残り2カ月となりました。

風邪などに気を付けて、暖かくしてお過ごしくださいね!(^^)!

## 10月の活動

10月は、秋らしいさつまいもを使って、さつまいもパイを作りました！

今回は、手順書を見て作ることに加えて役割分担をしています。自分の役割を果たすだけでなく、お友だちの作業を見て待つ、使わない道具は片付けておく、お友だちを手伝うなど“みんなで作る”を意識した姿が見られました。お子様の様子に合わせて、お友だちとの話し合いを行って役割を自分たちで決めることや、材料と道具を見て手順を考えて取り組んでいます。

おやつ作りを楽しみにしてくれていたお子様が多く、話し合いではいつも以上に自分の意見を伝える姿や相手の意見を聞く姿が見られました。さつまいもパイの作り方の手順書や材料についてまとめたものを事業所玄関に置いてありますので、ぜひご家庭でも作ってみてくださいね(^^)/



どうやって つくる??

今日の活動の様子を、写真やイラストで記録しよう!

＜準備＞

＜作り方＞

1	さつまいもをまなこでつぶす
2	砂糖、しお、マヨネーズを加えて混ぜる
3	さつまいもにマヨネーズをかける
4	さつまいもの皮を剥いておろす
5	(皮の皮を剥く)
6	完成
7	食べる

## TOPICS

お家で宿題や苦手な事をする時、嫌なことややりたくないことを言葉で伝えるのではなく、その場で寝転んでしまう、その場から動かない、「いやだ!!」と大きい声で言う、走る等の行動で思いを伝えようとする姿が見られることもあるのではないのでしょうか？  
そのような場面では、何が嫌なのか、どうしてほしいのか等が分からず、対応に悩みますよね。

要因として、以下のことが考えられます。

- ①どのように言葉で伝えれば良いか分かりにくい
- ②見通しが持ちにくい(思っていた事・想定していた事と違っている)
- 等

このような場面での対応方法をお伝えさせていただきます。

(1)今の気持ちを聞く

「悲しい」「怒る」「わからない」「難しい」「疲れている」「ドキドキする」など、様々な気持ちの選択肢から、今の気持ちを選んでもらいます。お子様自身がどのような気持ちなのかを伝えやすく、共有することが出来るので、何が嫌なのかどうしてそのような行動になるのかを整理することが出来ます。言葉や文字からイメージすることが難しい場合には、表情のイラストを提示することや実際に表情で表してみるとお子様が伝えやすいと思います。自分の気持ちを伝えることは、その気持ちになった理由やその気持ちだからやりたくないということを行動で表すのではなく言葉で伝えられるようになるための第1歩です！

悲しい      怒る      わからない      難しい      疲れている      ドキドキ

(2)フローチャートで示す・選んでもらう

下の例のように、やりたくない時にはどのような方法があるかの選択肢と、どのような行動が良いかを明確に知らせます。お子様が行動と結果を結び付けやすい事から、見通しが持ちやすくなり、また選択肢から自分で選ぶことが出来るので納得しやすくなります。

```

graph TD
    A[やりたくない (例:宿題)] --> B[いっしょにする]
    A --> C[15分だけする]
    A --> D[休憩してからする]
    A --> E[やらない]
    B --> F[はやくおわる!]
    C --> F
    D --> F
    E --> G[宿題がおわらない]
    F --> H[ゲームができる!]
    G --> I[ゲームができない...]
  
```

少しでも参考になれば幸いです。上記は1例ですのでご不明点、ご相談等ございましたら職員までお気軽にお尋ねください(\*^-^\*)